

頭痛「しっかり検査を」

製鉄病院
セミナー 市民が危険性学ぶ

室 蘭

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院の「第13回市民健康セミナー」が3月28日、同院1階フウンジで開かれた。市民ら約50人が頭痛に関連する病気の危険性を学んだ。

講師は同院の林征志脳

神経外科長が務めた。「頭痛には検査をしても異常はない1次性頭痛と、何らかの病気が見つかる2次性頭痛がある」と指摘した。

2次性頭痛の慢性硬膜下血腫に触れ「軽く打っ

ただけでも1カ月ほどして骨と脳の間には血がたまる」と注目を促した。その上で「頭痛は重大な病気のサインかもしれない。しっかり検査を受け、治療に臨みましょう」と呼び掛けた。

講話後は参加者がそれぞれ悩みを質問していた。(小笠原皓大)



「頭痛の診断と治療」をテーマにした市民健康セミナー